



報道関係者各位

エコマークとブルーエンジェル間で 相互認証協定を締結しました

(公財)日本環境協会 エコマーク事務局 (住所:東京都中央区、理事長:森嶋 昭夫) は、11月10日付でブルーエンジェルを運営するドイツ連邦環境・自然保護・原子力安全省(BMUB: Federal Ministry for the Environment, Nature Conservation, Building and Nuclear Safety)、ドイツ連邦環境庁(UBA: Federal Office for Environment)、ドイツ品質保証・表示協会(RAL gmbH)と相互認証協定を締結しましたので、お知らせします。

相互認証協定とは、相手国の環境ラベルの審査(もしくはその一部分)を自国の環境ラベル機関で実施することを可能とする二国間以上の協定で、相互認証の実施により、共通基準化の促進による事業者の開発・製造コストの削減、環境ラベルの申請コストの削減、海外市場参入の容易化、多国間で環境ラベルの認定商品が広く流通することによる地球規模での環境負荷低減などの効果が期待されます。

ブルーエンジェルは、1978年に世界で初めて開始されたドイツのタイプI環境ラベルで、BMUBの監督のもとUBA、RAL gmbH、環境ラベル審査会(Jury)の3機関が連携して運営している環境ラベルです。ドイツ国内のみならずEU諸国等でも非常に認知度があり、世界の環境ラベルにも強い影響力を持っています。現在、12,000商品以上(1,500社以上)が認証されており、日本の多くのプリンタ、複写機の事業者等も認証を取得しています。

今回、ブルーエンジェルの運営機関との間で、相互認証の一般的な原則が締結されましたので、今後は相互認証の早期運用に向けて、相互認証を活用した認証手順等の合意書、ならびに複写機、プリンタなどの分野における共通基準項目の合意を目指し、協議を継続していきます。



ブルーエンジェル



エコマーク

【写真】 日本エコマークとブルーエンジェル相互認証協定の調印式の様子
(2014年11月10日ドイツ・ベルリン)

エコマークの相互認証の取組みは、<http://www.ecomark.jp/sougo.html> からご覧いただけます。

以上

＜本件に関するお問い合わせ＞ 公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局 普及・国際協力課
TEL: 03-5643-6255 E-mail: info@ecomark.jp

＜エコマークについて＞

国際標準化機構の規格 ISO14024「タイプI環境ラベル制度」に基づく認定制度で、(公財)日本環境協会が運営しています。エコマークは1989年に創設され本年2月に25周年を迎えました。環境への負荷が少ないなど、環境保全に役立つと認められる商品やサービスにつけられ、消費者が暮らしと環境の関係を考え、環境保全の面でより良い商品を選びやすくすることを目的としています。

エコマーク事務局ウェブサイトでは、最新情報を随時アップしています。URL: <http://www.ecomark.jp/>